

# 吹田市国民健康保険第3期特定健康診査等実施計画 吹田市国民健康保険第2期データヘルス計画 ー概要版ー

## ～計画策定にあたって～

### ■計画策定の主旨

近年、急速な少子高齢化、経済の低成長への移行、国民生活や意識の変化など、大きな環境変化に直面し、医療制度を今後も持続していくための構造改革が急務となっています。

このような状況に対応するため、健康と長寿を確保しつつ、医療費の伸びの抑制にもつながることから、生活習慣病を中心とした疾病予防を重視することとし、平成25年に「吹田市特定健康診査等実施計画(第二期)」を、平成28年に「吹田市国民健康保険データヘルス計画」をそれぞれ策定し、継続的・計画的な保健事業等の事業展開を図ってきました。

このたび、両計画が平成29年度末に計画期間が終了することから、平成30～35年度までを共通の計画期間とし、両計画の整合性を図り一体的な策定と運用を求めた国の通知に基づき、相互の整合性を図りながら「吹田市国民健康保険第3期特定健康診査等実施計画及び第2期データヘルス計画」として一体的に策定します。

### ■計画期間

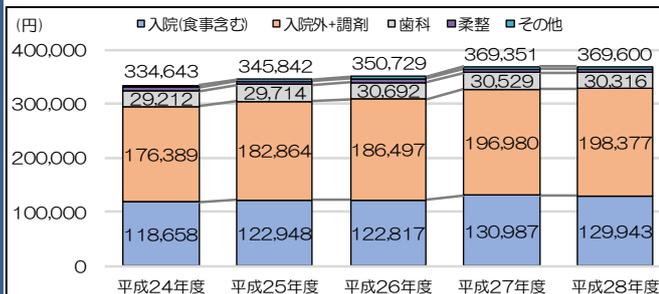
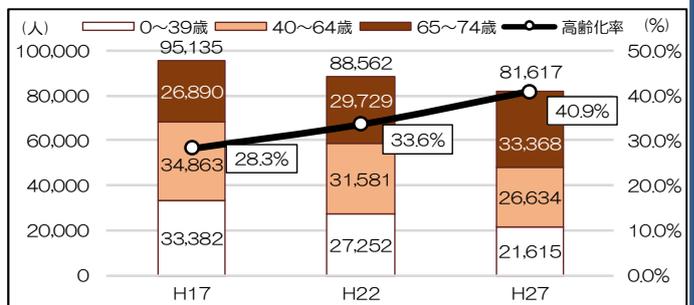
国の指針等に基づき、平成30年度～平成35年度の6年間の計画とします。

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度～平成35年度
第2期特定健康診査等実施計画					第3期特定健康診査等実施計画 第2期データヘルス計画
第1期データヘルス計画					

## ～吹田市国民健康保険の現状～

### ■国保被保険者分布及び高齢者割合の推移

被保険者数は平成17年度から平成27年度にかけて減少していますが、高齢化率(65歳以上)は28.3%から40.9%へ上昇しています。

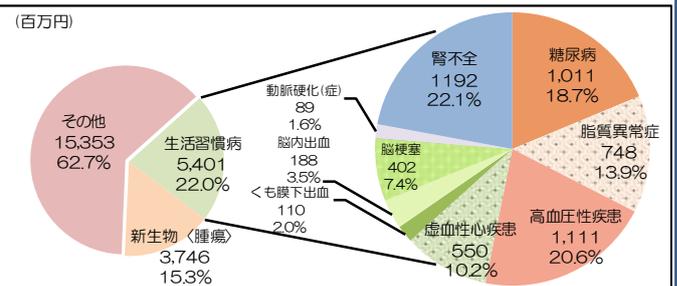


### ■被保険者一人当たり年間医療費の推移

被保険者一人当たり年間医療費は上昇傾向にあります。また、費用区分別にみると「入院外+調剤」が最も高くなっています。

### ■総医療費に占める生活習慣病の割合

生活習慣病の医療費は総医療費の22.0%を占めており、第1位が「腎不全」、次いで「高血圧性疾患」、「糖尿病」となっています。

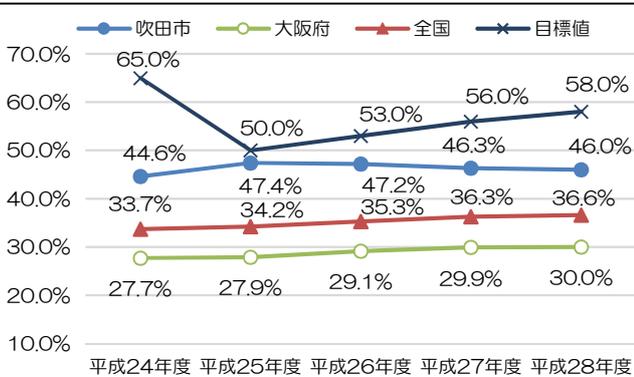


# 吹田市国民健康保険 第3期特定健康診査等実施計画

## ■ 第2期計画の取組の考察

特定健康診査の受診率及び特定保健指導の実施率とも、国が定める目標値60%には未到達の状況です。特に特定保健指導実施率は目標値を大きく下回りました。

	平成28年度 (2016年度)
特定健康診査実施率	46.0%
特定保健指導実施率	17.9%
メタボリックシンドローム 該当者割合	14.6%
メタボリックシンドローム 予備群者割合	12.1%

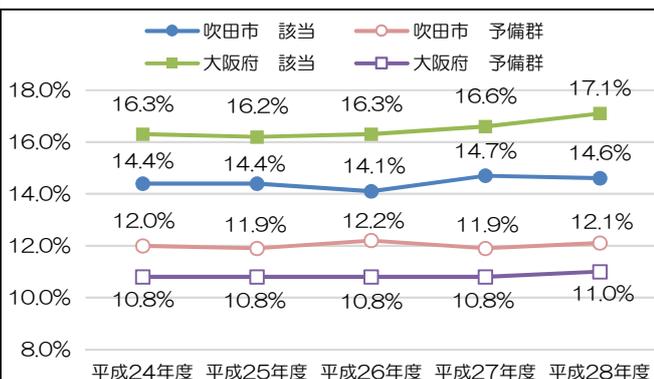
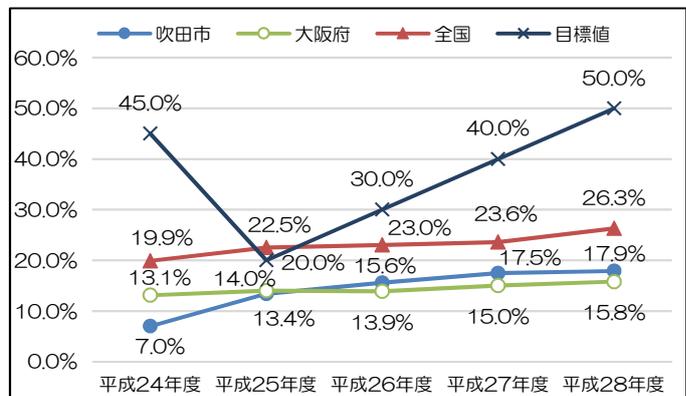


## ■ 特定健康診査受診率の推移

特定健康診査受診率はほぼ横ばいとなっていますが、いずれの年度も大阪府や全国と比較して高くなっています。

## ■ 特定保健指導実施率の推移

特定保健指導実施率は大阪府に比べて若干高くなっているものの、全国及び本市の目標値と比較すると低い水準で推移しています。



## ■ メタボリックシンドローム該当者・予備群の出現率の推移

メタボリックシンドローム該当者・予備群の出現率の推移は大きな変化はないものの、大阪府と比較すると、メタボリックシンドローム該当者割合は低い水準で推移し、メタボリックシンドローム予備群者割合は高い水準で推移しています。

## 吹田市国民健康保険 第2期データヘルス計画

### ■ 第1期計画の取組の考察

事業	実績	評価
<b>◆若い世代への特定健康診査受診勧奨</b>		
未受診者への個別勧奨	文書勧奨実施者 3,013人 勧奨後の受診者 136人	全国や大阪府と比べて特定健康診査受診率は高い状況です。しかし、国の定める目標値には達しておらず、さらなる受診率向上への取組が必要です。
<b>◆特定保健指導実施率の向上</b>		
受講勧奨事業	文書郵送数 2,993人 うち、特定保健指導申込み 301人 電話勧奨実施数 1,212人 うち、特定保健指導申込み 86人	年々わずかに実施率は向上していますが、さらなる受診率の向上に向けた取組が必要です。
医療機関への受講勧奨協力依頼	のべ99医療機関訪問	保健センター事業についての理解を得ることができました。
利便性に配慮した会場や曜日、時間帯の工夫	平日実施会場 4会場追加 土曜日実施回数 2回追加 土曜日実施会場 2会場追加 時間帯 午前・午後実施	年々、わずかに実施率は向上していますが、さらなる実施率の向上にむけた取組が必要です。
健康ポイントの付与	特定健診受診者及び保健指導受講者に健康ポイントを付与	特定保健指導実施率の向上には直接的な効果はみられませんでした。健康教室への参加やウォーキングの実施など、生活習慣改善にむけた行動変容のきっかけにはつながりました。
<b>◆特定保健指導対象者外となる非肥満の高血圧者及び血糖高値者への重症化予防</b>		
非肥満の血圧・血糖高値者受診勧奨事業	血圧高値者 対象者 757人 文書郵送 752人 受診確認 658人  血糖高値者 対象者 679人 文書郵送 676人 受診確認 599人	電話・訪問・文書等で、多くの方への受診勧奨・受診確認ができました。しかし一方で、効果的な生活習慣改善ができるような保健指導につなぐことや主治医との連携が課題です。
糖尿病重症化予防事業	対象者 683人 受診確認 682人	電話・訪問・文書等で、多くの方への受診確認ができました。しかし一方で、受療中にもかかわらず、糖尿病のコントロール不良者が存在しており、効果的な生活習慣が改善できるような保健指導につなぐことや主治医との連携が課題です。
糖尿病及び糖尿病重症化予防についての市民向け講演会の実施	開催回数 6回 参加人数 338人 (参加人数は吹田市民全体の実績であり、国保加入者のみの参加人数ではありません。)	糖尿病に関する病態・栄養・運動・歯科等など多方面からの啓発ができました。今後は、健康意識の低い層への啓発をどのように行うかを検討していく必要があります。

### ■ 目標値

	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	国の目標値
特定健診受診率	47.0%	48.0%	49.0%	50.0%	51.0%	52.0%	60%以上
特定保健指導実施率	53.0%	60.0%	65.0%	70.0%	75.0%	80.0%	60%以上

## ■保健事業実施内容と評価方法

事業	目標(平成35年度)	
	実績評価	成果指標
◆特定健康診査 —受診率の向上—		
未受診者対策事業 新規対象者対策事業	電話・訪問・文書による勧奨	特定健康診査受診率 52%
◆特定保健指導 —実施率の向上—		
受講勧奨事業	受講勧奨実施率 100%	特定保健指導実施率 80%
◆特定保健指導対象外の方へのアプローチ —重症化予防—		
糖尿病性腎症重症化予防事業	累計実施者数 300人以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HbA1c6.5%以上者の減少</li> <li>・糖尿病患者の新規人工透析者数の抑制</li> </ul>
非肥満Ⅱ度・血糖高値者受診勧奨事業	対象者への受診勧奨実施率 100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HbA1c有所見者の減少</li> <li>・未治療でHbA1c高値者(7.0%)の減少</li> <li>・収縮期血圧有所見者の減少</li> <li>・非肥満Ⅱ度以上高血圧者の減少</li> </ul>
◆国保被保険者へのアプローチ —糖尿病・高血圧・脂質異常症の発症予防—		
生活習慣病予防の啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康教室、キャンペーン等の実施</li> <li>・すいた健康サポーター事業の実施</li> <li>・健康情報拠点推進事業での啓発活動</li> <li>・食育講演会の実施</li> <li>・胃、肺、大腸がん検診(集団)での血圧測定の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有所見者数の減少</li> <li>・特定健診受診率の向上</li> </ul>
◆その他の保健事業		
がん検診 -受診率の向上及び死亡割合減少-	がん検診受診勧奨ハガキ配布累計枚数	検診受診率(平成32年度まで) 胃がん検診 4.9%以上 肺がん検診 24.5%以上 大腸がん検診 30.5%以上 乳がん検診 50.0%以上 子宮がん検診 50.0%以上
たばこ対策 -喫煙率の減少-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・禁煙治療費一部助成事業</li> <li>・禁煙相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業利用者数の増加</li> <li>・禁煙相談者数の増加</li> <li>・喫煙率の減少</li> <li>・COPD認知率の増加</li> </ul>
成人歯科健康診査 -歯科疾患の早期発見と予防、 口腔の健康管理についての意識 向上-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯と歯ぐきの健康教室の実施</li> <li>・すいた健康サポーター事業で啓発</li> <li>・健康情報拠点推進事業での啓発活動</li> <li>・食育講演会の実施</li> <li>・がん検診・30歳代健診受診勧奨に成人 歯科健康診査の案内を掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成人歯科健康診査受診率の向上</li> <li>・4mm以上のポケットを有する人の 割合減少</li> </ul>
30歳代健康診査 -受診率の向上-	受診勧奨実施率 100%	国保被保険者の30歳代健康診査の 受診率向上

## ■計画の評価・見直しについて

本計画の目的及び目標の達成状況については、毎年度評価を行うこととします。また、平成32年度に進捗確認・中間評価を行い、必要に応じて実施体制・目標値等の見直しを行います。最終年度においては、次の期の計画策定を円滑に行うため、上半期に仮評価を行うこととします。